

「はやぶさ」342号 2020年05月29日(金)

アフターコロナは激変の時代！ いかに生き抜くかの戦略は！！

###free1###

###name### 様

◆コロナ対策で日々奮闘しております、医療従事者や行政等の関係者に心よりの感謝を捧げます。
◆コロナショックが、私達の日常生活や経済活動はもちろんの事、政治や行政に甚大な影響を与え、社会機構や国際関係にも影響を及ぼしています。今までの価値体系が根本から破壊されて、新しい価値体系と理念が求められていると観じています。100年に一度と云われてますが、明治維新（150年前）以来の時代変革と感じていますが、どうでしょうか？

そうした時期に、私の知見と50年の経営支援の経験知から、どう考察すべきか、近未来はどう生きたいのかの私見を述べます。 拙速であり狭い見解であることを承知の上で、
私なりの個人の生活態度や中小企業経営の指針を示します。

最近では、政府や有識者からの「未来戦略」が提示されておりますが、現場主義・主権在民の見地からの私見あり、この実現（理念経営）に生涯と来世をかけて取組む決意です。

健康と経済活動の「安心・安全」が大いなるリスクであり、長引くことが想定されており、天変地異も想定のなかにあり、ハイリスクの時代に入っていきますので、タフに生きましょう！

◆医療従事者に余計な負担を増やさないように、自己責任で生活規範を守りそれでも相互にWinWinの日常生活ができますように、気持ちを強くもって進化したいと念じています。

~~~~~

理念経営 X SDGs 実戦の時

## アフターコロナは激変の時代！ いかに生き抜くかの戦略は！！

「はやぶさ」342号 2020年05月29日(金)

### 【第1回】 コロナショックから学ぶべきことアフターコロナへの基本戦略 トータルの死者数に注視する

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

・プロフィールは <http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

~~~~~

◆目次にかえて・・・9回シリーズで毎週金曜日にお届けいたします

＊＊「理念経営」については、バックナンバー

http://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_348.pdf から5回。

http://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_351.pdf

http://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_350.pdf

http://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_355.pdf

http://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_357.pdf

＊＊「SDGs」については、バックナンバー

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_381.pdf から 5 回。

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_383.pdf

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_384.pdf

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_385.pdf

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_386.pdf

を参照いただくと幸いです。

＊＊＊目次に代えて＊＊＊情勢により追加・変更がありますことをご理解ください。

- ① #342・・・200529・・・今回掲載
コロナショックから学ぶべきことアフターコロナへの基本戦略・トータルの死者数に
- ② #343・・・200605・・・
問題解決能力を謙虚に評価して対応する・・・モノづくりの経験知から
- ③ #344・・・200612・・・
社会の変態脱皮が必要・・・政治・行政機関のコストパフォーマンスと改革の指針
- ④ #345・・・200619・・・
経済と国民のライフラインの守り方と施策【案】・拝金教からの脱出
- ⑤ #346・・・200626・・・
国際協調と課題・SDGs の取り組み
- ⑥ #347・・・200703・・・
テクノロジーは革新的に進化する・既得権益集団との戦い
- ⑦ #348・・・200710・・・
私達の生活姿勢の進化・マルチ災害への備えは日常化する
- ⑧ #349・・・200717・・・
持続可能な社会機構をいかにして構築するか？・SDGs の実戦
- ⑨ #350・・・200724・・・
宇宙船「地球号」の乗務員としての任務・・・客員ではなく・・・今後の展開のご案内

＊＊予告ですので変更することがありますので、悪しからずよろしくお願いいたします。

~~~~~本 文~~~~~

## 【第 1 回】 コロナショックから学ぶべきことアフターコロナへの基本戦略

### ・トータルの死者数に注視する

・3月からは2か月半、毎日「ストレステスト」を受けているような日常生活を、強いられてお

り体調の管理はもちろんの事、文字通りストレスは積み重なっており心情のコントロールも大変ですが展望をもって逞しく生き抜きましょう。

・「モノづくり系」の品質保証・新製品開発プロジェクト（以下：PJT と表示）のマネジメントの経験知を50年近く積み重ねた考察力を基に、今回のコロナショックを考察して、再発防止（案）と社会の問題解決力アップの私見を述べます。

国家レベルの政治・経済を述べるには総合的な見識・経験知が不足を承知の上ですが、私見と指針を述べますので少しでもお役に立てれば幸いです。

## 1、コロナショックから学ぶべきこととアフターコロナへの基本戦略

\* 今回のコロナショックで、新しい言葉が次々と出てきますが、クラスター・パンデミック・オーバーシュート・ロックダウン等の用語の解説はインターネットにてお調べください。

### ① 人類が経済活動をする限り、過去もそうだが今後も何回も繰り返さず

緊急事態宣言とか戦時状況だとか、これだけ騒がれると未曾有の災害が起こっているように感じるかもしれませんが人類の歴史を紐解いてみると古くは、①14世紀のヨーロッパにおけるペスト(黒死病)、②19世紀以降7回にわたって発生したコレラの大流行③第一次世界大戦中の1918年に発生し、猛威をふるったスペインかぜ(スペインインフルエンザ)、④1968年に発生した香港かぜ(香港インフルエンザ)なども、インフルエンザ・パンデミックでありパンデミックは記憶が消えないうちに起きていて珍しい出来事ではありません。

そのたびに、相当数の死者を出して社会はインパクトを受けて変革されてきた歴史があります。

### ② 何故ウイルスは、繰り返し発生するのでしょうか？

今回のコロナ(COVID-19=単にコロナと云う)は、第2波・第3波が来ることは想定されていることですが、ウイルスは進化して新しい毒性を持って再び人類に襲い掛かるのは、歴史が証明しています。SARS や MERS、鳥インフルの流行間隔の例を見ても分かるように、最近では流行と流行の間隔が短くなってきておりこれは地球全体で自然破壊が進むことによって、野生動物と人類が接触する機会が増えてきたことにより今まで人類が接触したことの無い病原体とも接する機会が増え、発生機会が増加したことに加えて、飛行機の発達により人間の移動が飛躍的に増加したのも一因です。そして地球は丸く、北と南では季節が反対で流行にはタイムラグがあるからです。

### ③ 新しいウイルスが次々と生まれるので With Virus=W V を前提に対策する

地球温暖化の影響で、ツンドラが溶け両極の氷が融けて、封じ込められていた古代からの未知のウイルスが出てくる可能性や、野生動物由来からも出てくる可能性は十分に想定されています。

### ④ 対策にも「プロダクト・ミックス」が必要……解決すべき課題は何か？

・対策の目的は死者数を最小化して、早期に乗越えることとあります。対策が成功か否かはこの数

字で評価されます。 死者が発生する要因を区分すると

イ……コロナによって死んだ「直接的死者数」

ロ……コロナ禍により医療支援が適切に受けられないための「機会損失死者数」

ハ……コロナ禍により経済的リスクを負い、それが引き金となった「リスク死者数」

倒産・廃業・借金苦・家庭不和・就学不可等による＝自殺者・餓死者・事故死者

・死者数イ・ロ・ハを総計して時系列で、ある期間（中期的に3年くらいのスパンで・・・）データをとり判断して効果を判定して、次善の策であったかを評価して、真に「歯止め」がかかったかを検証して、経験知（マニュアル・手引き書）にして再発に備えます。

・今回は医療系のイ ロと、経済社会系のハをバランスよく解決することのマネジメント能力が問われております。詳しくは次回以降で述べますのでよろしくお願ひします

~~~~~^~

次回は#343号 200605

「問題解決能力を謙虚に評価して対応する・・・モノづくりの経験知から」をお送りいたします。

最後までお読みいただいて感謝いたします。本当にありがとうございます。

では、また次号で元気でお会いしましょう！

*****第6回ビジネスモデル発表交流会のご報告*****バックナンバーは
、https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722|pdf_1_382.pdfをご覧ください

*****第7回「ビジネスモデル発表交流会の予告」を近々ご案内いたします*****

予定日：2020年10月23日・PM 王子：北とびあ

**お問い合わせ・質問は メールアドレス： hos_biz@hosbiz.net

発行責任者：平本 靖夫、 編集長：石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://1lejend.com/stepmail/dela.php?no=xxewhs&a_mail=###mail###